

盆栽は四季を感じることでできる日本の伝統文化です。
ミニ盆栽なら玄関やリビングに飾って手軽に癒し空間を演出できます。



ふつう盆栽といえば男性が両手で抱えるほどの大きさで、何十年もかけて理想の形に仕上げているものですが、現代の社会ではもっと短い期間で仕上がり、より手軽に楽しめる盆栽が好まれるようになってきました。

また、都会に住んでいると、マンションやアパート、一戸建てでも庭がなかったりと場所も限られています。



ミニ盆栽は庭のないお宅でも、ベランダなどの小スペースに置いて、インテリアとしても利用でき、ふつうの盆栽より管理が簡単なので初心者にもおすすめです。

ミニ盆栽は片手に乗ってしまうかわいらしさが若い女性にも受け入れられ、草花感覚で手軽に楽しめることから、巾広い年齢層に広がりを見せています。

豆知識

鉢のない盆栽“苔玉”

「苔玉」とは植物の根をケト土や赤玉土などを混ぜて練った土で包み玉の形にして、さらに苔(こけ)を貼って釣り糸などで球状に巻き付けたものを言います。日本伝統の盆栽での”根洗い”の技術を応用したものと言われています。

みずみずしい苔(こけ)は植物を引き立たせ、ほんわりした丸い形はほっと和ませてくれる小さな緑です。

コラム

小さな自然“寄せ植え盆栽”

複数の木や草花を同じ鉢に植え付けたものを寄せ植え盆栽と言います。寄せ植え盆栽は小さな鉢の中に大自然の風景を再現します。使われる木や草花はもともと野や山に生えていた種類が多く、秋に紅葉し、春には花を咲かせ、部屋の中に居ながらにして、四季を感じることができます。

通常の盆栽と異なり、成長が早く、管理も簡単なので、初心者にも取り組みやすく、若者・女性を中心に人気を集めています。

